

JA だより

9

2020

September

第145号



表紙の写真
稲穂

令和2年度水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米の銘柄数は869銘柄。
県内でも25銘柄が作られている。米は農作物の中でも品種改良が
盛んに行われており、毎年様々な新種米が市場に出回る。



白山農業協同組合
(@ja.hakusan)



白山農業協同組合
(@ja.hakusan)



JA 白山
(@530vzuic)





令和2年産稲刈り始まる

8月25日より蝶屋地区、26日より鶴来地区、29日より手取地区で水稻の刈取りが始まり、蝶屋・井口ライスセンターや手取カントリーエレベータで受入が行われました。秋作業前には受入体制等の確認、検査員や事務担当者の研修会を行い、全ての作業を円滑で安全に進めるよう担当者の認識を深めました。

今年の作況は、梅雨の長雨による日照不足から、特に早生品種の収量に影響が出ることが心配されています。

また、石川県最大の種子産地として優良種子生産を続けている鶴来地区、河内地区では26日より刈取りが始まり、井口および河内種子乾燥施設で乾燥作業が行われています。

水稻の受け入れは9月下旬までの予定で、粳摺りなど各施設での作業は12月まで続きます。

よらんかいねえ広場では新米発売は8月27日から、Aコープ蝶屋店・手取店も同日販売していますので、ぜひご賞味ください。

令和2年産 品種別作付面積（10ha以下の品種は除く）

コシヒカリ	695ha	カグラモチ（もち米）	21ha
ゆめみづほ	212ha	新大正糯（もち米）	36ha
ひやくまん穀	91ha	五百万石（酒米）	42ha

理事会だより

第5回理事会
日時／令和2年8月27日（木）午後1時～

審議事項

第1号議案 令和2年産JA米仮渡金および出荷奨励金について
第2号議案 職員給与規程の一部改正について

以上2議案について審議し承認されました。

報告事項

- 1 令和2年7月末事業実績について
- 2 水稻刈取り適期および共同乾燥施設稼働計画について
- 3 井口育苗センター改修計画の進捗状況及び今後のスケジュールについて
- 4 令和2年度組合員集会の開催について
- 5 その他

①役員会資料の取扱い管理について

②「令和2年7月豪雨JAグループ支援募金」活動の取組みについて

以上5項目について報告しました。





平成27年6月オープン



県内外からの施設も数多く受入れ



今年のお盆には花束2万本を用意



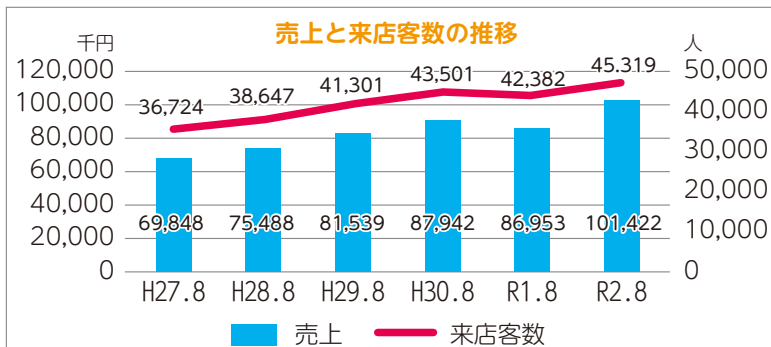
女性部お手製のスイーツ

JA白山
おんがいの広場
ファーマーズマーケット

店内には安全・安心な産直品や店頭精米のお米、鮮魚や提携が作るスイーツ、管内の銘菓や加工品も人気を集めています。県内外からの施設見学も受け入れており、農産物直売所としての魅力を発信し続けています。今後もより組合員や地域の皆さまに愛される店舗を目指してまいります。

8月12日よりお盆の売り出しが行われ、お盆用の花束や地元野菜を買い求める来店者で賑わいました。開店から6年目に入り、おかげ様で先月8月の月額売上高はついに1億円を突破しました。地域農業振興と農業所得の向上、地産地消による地域コミュニティの拠点機能施設として平成27年6月にオープンし、今年で6年目。現在も管内外のお客様から高い支持を受け、順調な伸びを示しています。

月額売上1億円突破！



地元の銘菓や米粉パンも人気



JA 白山

LINE 公式アカウントができました



お買い得情報、
チラシ情報、
イベント情報などを
お届けします

お友達登録で「5%割引クーポン」
プレゼント中！(10月31日まで)

※産直品、たばこ、商品券、ビール券、送料はクーポン対象外です

お友達登録はこちら▶
または「@530vzuic」をID検索



営農だより



今年度の作付面積は4.3haで、31日より始まった出荷作業は10月まで続きます。

8月27日、白山ねぎ部会の出荷会議が蝶屋支店で行われました。

会議ではまず県内の情勢や品質状況、今後の見解を聞きました。次いで農林総合事務所担当者より、新系統の害虫の特徴や防除について「消毒をきちんと行い、良品質を保ち出荷量確保に努めてほしい」と話されました。

今年は長雨や猛暑など栽培が難しい天候のため、生育は順調ですが出荷量はやや減少するようです。

白山ねぎ 出荷会議



8月20日頃より、月橋町の梨園で収穫作業が行われていました。

4月の受粉作業から、摘果や枝打ちなどで個数や大きさの管理調整を行ってこられました。今年は雪不足や4月のあられ、梅雨の長雨など天候に悩まされ、例年より収穫量が落ち込む見込みです。

人気の高い「幸水」から始まり「豊水」「南水」「新水」と収穫され、よらんかいねえ広場に並んでいます。

毎年人気で、午前中で売り切れることもあります。ぜひご堪能ください。

地元産の梨 収穫始まる



7月および8月の理事会後、第6期役員がJAの施設見学を行いました。

7月29日は河内・手取・白峰地区、8月27日は鶴来・蝶屋地区の施設を見学。建物の現状や使用状況について説明を受けました。

役員は各施設へ実際に訪れることで、設備の修繕や改修・集約の必要性などについて考える機会となりました。

役員施設見学



農業資材（肥料・農薬）の休日営業終了のご案内

農繁期における本店営農部、手取支店で土日祝日の臨時営業は、

手取支店 9月26日(土)、本店営農部 10月17日(土)

で終了させていただきますので、よろしくお願いいたします。 営農経済部

JAだより10月号休刊のお知らせ

毎月JA白山の広報誌「JAだより」をご愛読いただきありがとうございます。

さて、誠に勝手ながら次号**10月号を休刊**とさせていただきますのでご案内申し上げます。**10月の行事等**につきましては、**来月号の各支店だよりをご覧ください。**

今後ともJAだよりをご愛読いただけますようお願い申し上げます。

総務部

新型コロナウイルス感染症の影響下における 家庭での食事の変化

新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出を控える方が増え、家族で調理や食事をする機会が増えました。それに伴い「食」に対する意識も変わりつつあるようです。

家族で調理や食事を より楽しむ傾向

【家族での食事が増えたメニュー】
炊き込みご飯・チャーハンなど

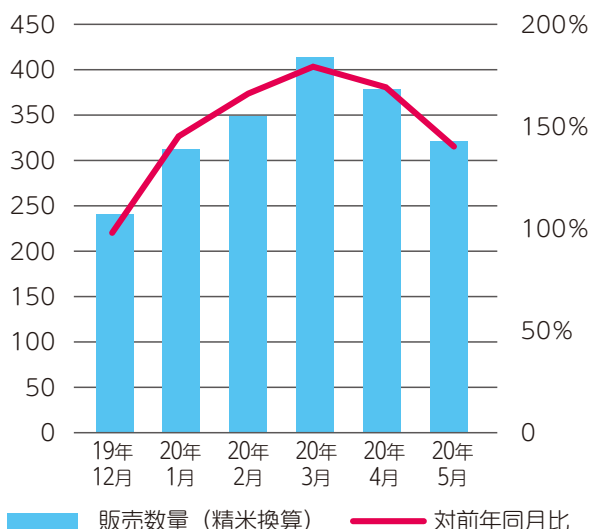
- ・一度にたくさん作れて取り分けられる。
- ・子供が好きで、家族一緒に食べられる。
- ・比較的短時間で作ることができる。



3月は調理時間の短縮が可能な主食や加工食品、4月は自炊に使う調味料、5月以降は食を楽しむ嗜好品が売れ筋になり、**自炊頻度の増加により生活の楽しみとして食事が重視される傾向が見られる。**

簡便なパックご飯が人気

1月以降、非常時への備えやその簡便さから人気が高まっており、販売数量が対前年同月比で大幅に伸びている。



健康機能性への注目

免疫力向上に資する食品として、健康機能性をうたった米や玄米などが好調。

資料：農林水産省「米の基本指針（案）に関する主なデータ等」

なかなか終息が見えない新型コロナウイルス。毎日の食事に安全・安心な米や農産物を取り入れ、ウイルスに負けないよう免疫力を高めましょう。



青壮年部

人参大きくなあれ

8月7日、あいわ保育園で、年長園児18人が人参の種蒔きを行いました。

青壮年部林支部の高本さんと先生が耕して溝をつけた園内の畑に、こぼさないように気を付けながら種をパラパラとまきました。

毎年行っており、収穫後は給食で提供されるそうです。今年も11月頃に収穫予定です。

高本さんは「最初は小さな葉っぱなので間違っちゃって抜いたりせず、よく見て大切に育ててください」と挨拶しました。



夏祭り気分満喫

8月9日、よらんかいねえ広場前で出店イベントが行われました。

地産地消と直売所の利用促進を目的に行っており、今年で3年目です。

今年は夏祭りや花火大会が中止となりイベントが少なかったため、親子連れに夏祭りのような楽しい雰囲気を提供しました。

イベントでは地元産の米で作ったポン菓子や焼きトウモロコシ、提携ファーマーズマーケットの「明方ハム」のフランクフルトなど約500食を販売。買い物帰りの方で賑わい、完売となりました。



コスモス畑に挑戦

青壮年部館畑支部は、県の青壮年部のプロジェクトの一環として、耕作放棄地を活用したヒマワリ栽培を行っています。

毎年園児を招待し、ヒマワリ畑を見学してもらっていましたが、今年は天候の影響もあり栽培できませんでした。

そこで今年は、コスモスの種を蒔きなおし栽培に再挑戦しています。

クレインのプール隣の圃場で、順調に育てば9月末には満開となる予定です。お近くを通られた際にはぜひご覧ください。



昨年のヒマワリ畑の様子

地域活性 女性部

第1回グリーンレディーススカレッジ 作ってみよう！手作りマスク

8月5日、本店多目的ホールにてグリーンレディーススカレッジを開催。鶴来支部の遊布クラブメンバー3名が講師となり、部員25人が布マスクを手縫いで作りました。

すでに作ったことがある部員もいましたが、改めて細かい部分を習うことで「自分で作ったのより形がきれいに仕上がった」と好評でした。

布を型紙に合わせて切り出すところから始めましたが、手縫いでも1時間程度で仕上がりました。作り方は『家の光7月号』にも掲載されていますので、興味をお持ちの方はぜひチャレンジしてください。



いち 支店 ー いち 協同活動

地域活性 沿道清掃で地域貢献

蝶屋支店

8月8日、蝶屋支店では、支店前の県道104号の美川駅から美川消防署間2.3kmの清掃活動を行いました。毎年支店職員と役員・運営委員、青壮年部が参加しており、組織間の関係づくりや地域コミュニケーションの場としても役立っています。

この日は20人が参加。回収されたごみはペットボトルやビニール袋、不燃物など5袋ほどになりました。

石立支店長は「清掃活動など、これからも地域に貢献したい」と話しました。



『家の光』購読受付中

協同のこころを育む家庭雑誌として1925年に創刊され、今年95周年を迎えました。女性はもちろん、家族みんなが楽しく読める総合家庭雑誌です。

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」という4つの柱を大切にしており、2018年12月号より、実用記事の増ページや「パッと見てわかる」デザインに変更されるなど誌面が



大幅にリニューアルされ、組合員や地域の人々がより活用しやすい構成となっています。



12月号は便利な「家計簿」と
もしもに備える「わたしノート」付き！

家の光	定 価
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9号)	922円
付録月号(家計簿12月号)	1,027円
1年間(12か月)	9,411円

令和2年産JA米仮渡金および予約出荷金

(単位:円/俵当たり、税込)

銘 柄	等級	令和2年産 JA 米仮渡金 A	令和元年産 JA 米仮渡金 (JA出荷奨励金200円を含む) B	差 異 C = A - B	JA予約出荷金 (12月支払い予定) D	JA出荷米合計 E=A+D	予約出荷金を含 む前年産との差 E - B
コシヒカリ	1	12,896	13,394	▲ 498	200	13,096	▲ 298
	2	12,296	12,794	▲ 498	200	12,496	▲ 298
	3	11,196	11,694	▲ 498	200	11,396	▲ 298
ゆめみづほ	1	11,696	12,394	▲ 698	200	11,896	▲ 498
	2	11,096	11,794	▲ 698	200	11,296	▲ 498
	3	9,996	10,694	▲ 698	200	10,196	▲ 498
ひゃくまん穀	1	12,696	13,194	▲ 498	200	12,896	▲ 298
	2	12,096	12,594	▲ 498	200	12,296	▲ 298
	3	10,996	11,494	▲ 498	200	11,196	▲ 298
五百万石 石川門	1	12,596	13,394	▲ 798	200	12,796	▲ 598
	2	11,096	11,894	▲ 798	200	11,296	▲ 598
	3	9,996	10,794	▲ 798	200	10,196	▲ 598
カグラモチ 白山もち	1	11,396	11,594	▲ 198	200	11,596	2
	2	10,796	10,994	▲ 198	200	10,996	2
	3	9,696	9,894	▲ 198	200	9,896	2

- ◆ 上記は県産米基金拠出者を対象とした県域共計概算単価であり、県産米基金の未拠出者は、拠出金見合い額として拠出者米穀より一律80円引きとする。
- ◆ 上記はJA米県域共計概算金であり、JA米とならない一般米については、JA米より一律300円引きとする。
- ◆ 水分15.6%～16.0%の米穀は一般米とする。また、出荷契約がない生産者が出荷する米穀についても一般米とする。
- ◆ コシヒカリ1等で整粒80%以上かつ玄米タンパク6.5以下のものは、「特1等」として500円を加算する。
- ◆ ミルキーフィーンはコシヒカリに1,000円を加算する。
- ◆ 北陸12号は五百万石に1,080円を加算する。
- ◆ 酒米の特等については、1等に対し400円を加算する。
- ◆ 他銘柄のもち米は、カグラモチと同額とする。
- ◆ フレコン出荷については上記価格より172円引きとする。
- ◆ 予約出荷金は全出荷数量確認後、基準に合致したものに200円を支払いする。
- ◆ 数量加算金は全出荷数量確認後、下記の基準で支払う。
300～999.5俵で+100円/俵、1,000～1,999.5俵で+130円/俵、2,000～2,499.5俵で+150円/俵、2,500俵以上で+170円/俵
- ◆ ひゃくまん穀の複数年出荷契約に対し350円/俵を加算する。

令和2年産加工用米、政府備蓄米、輸出用米の一体的取組における仮渡金

(単位:円/俵当たり、税込)

等級	JA仮渡金 A	令和元年産 JA米仮渡金 B	差 異 A - B
1	11,558	12,320	▲ 762
2	10,958	11,720	▲ 762
3	9,958	10,720	▲ 762

◆ フレコンは左記 ▲100円/俵

令和2年度の米情勢

【米穀情勢（元年産米）】

販売動向 新型コロナウイルス感染症の影響で、2月以降に家庭用需要が高まったが、中食・外食事業者等向けは、3月以降前年を大きく下回っており、販売全体では前年を下回る状況が続いている。こうした中「米の民間在庫量」は6月末時点で前年差+23万トンと大幅な在庫増となっている。

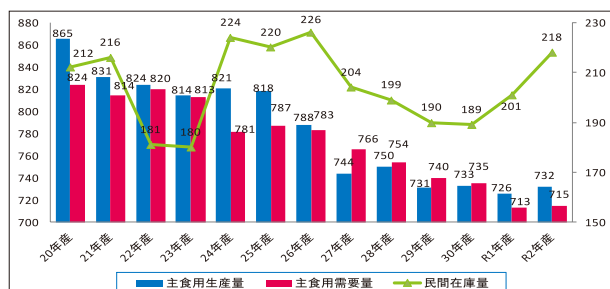
全農の販売状況 全農全体で主食うるち米の7月末販売実績は143万トン（前年比99%）と前年並みとなっている。8月～10月が前年同数と仮置きすると、11月以降の持越在庫は19万トン（前年+8万トン）となる。一方本県産米の7月末販売実績は、約3万6千トン（前年比111%）となり、販売数量全量が結びついている。

相対取引価格 令和元年産米の令和2年6月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,642円/60kg（前年より▲135円）出回りからの年産平均価格は15,735円/60kg（前年産+47円）となっており、近年同様、年間を通して比較的安定した価格形成となっている。

【今後の見通し】

令和2年産作付意向 前年実績に対し22県が減少傾向だが、前年並みが主産県を含む25県のため、主食用米作付面積は前年実績137.9万haから微減と推計している。また、2年産主食用米の収穫予想は、7月の低温・大雨・日照不足等の影響から全国段階の作況は98の「やや不良」で、予想収穫量は717万トン（前年より▲9万トン）と見込んでいるが、8月以降の天候の回復により登熟が順調に推移すれば、収穫量は前年を超える可能性もある。

●主食用米の生産量、需要量、在庫量の推移



※元年産の生産量および需要量等は、2年7月の国の基本指針による。
※令和2年産は、全国作況100と想定し試算した。

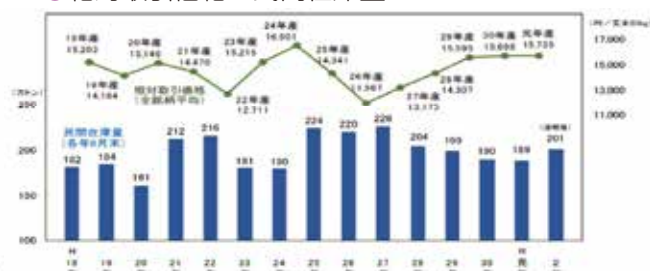
●主食用米需要量の推移（農水省）



●令和2年7月～3年6月の主食用米の需給見通し（作況別の需給試算）

	国公表の見通し	作況 100 の場合
2年6月末在庫：A	201	201
2年産米生産量：B	709～717	732
供給量合計：C=A+B	910～918	933
2年7月～3年6月末 国の需要見込量：D	715	715
3年6月末在庫見込 ：E=C-D	196～204	218

●相対取引価格と民間在庫量



※相対取引価格は、当該年度の出回りから翌年10月(元年産は2年6月)までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。



今の“ご自宅や地域の姿”を記念にのこしませんか



空から見た我が家

令和元年10月撮影

ヘリコプターから**航空カメラマン**が**高解像度デジタル撮影**を行い、**最先端のデジタル画像処理**を施し、今までにない**鮮明で鮮やかな航空写真**をお届けします。

空から見た我が家

空から見た我が家と
我が故郷



空から見た我が家・わが故郷



令和元年10月撮影

8月26日・27日に管内全域（一部地域を除く）を撮影しました。
10月より担当者とJA職員が航空写真のサンプルをお持ちして、組合員宅を訪問いたします。お電話でのお問い合わせも受付いたします。

お問い合わせ：各支店窓口 または 経済課 TEL **273-5213**

金融共済部よりイベント中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、下記行事を中止させていただきます。皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願い致します。

- 年金ゴルフ大会（昨年10月開催）
- JAバンク石川 年金コンサート（昨年11月開催）

金融共済部 金融課
TEL **273-3131**

お詫び 令和2年8月号に掲載しました「ふれあいサロン 上吉谷もみじ会」の記事の中で、内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

正：血圧には有酸素運動が良く、最低10分以上、合わせて30分以上の少しきついぐらいの運動を毎日やるというそうです。

誤：血圧には有酸素運動が良く、10分以上30分以内で少しきついぐらいの運動を毎日やるというそうです。

JAカードのポイント交換をしてみよう！

交換はお電話またはWEBサイトからお申込みください

お電話 ☎ **0120-102-707**

お電話でカタログをお申込みいただき、
郵送またはお電話にてお申込みください。
※電話をかける際は、お手元にご自身の
JAカードをご用意ください(資料コード111)

WEBサイト 三菱UFJニコスWEBサイト
<http://cr.mufig.jp>

WEB会員サービス「Net Branch」の
NICOS ID（登録無料）を登録することで、
ネットでポイントの確認・交換が可能です。



お手持ちの請求明細書で、現在持っているポイントの確認ができますよ

ポイント交換
商品例



2,500pt

全農食品ギフトカード（厳選肉コース）

- 特選和牛（ステーキ用ロース）250g×2
 - 特選和牛（すき焼き用ロース）500g
- のいずれか1つをお選びください



見本

1,050pt～

ニコスギフトカード

- 例 1,050pt=5,000円分
3,000pt=15,000円分

そのほかにも魅力的な商品がたくさん揃っています！

農業者の様々な資金ニーズにスピーディーに
対応できるJAの農業資金です。

農業バックアップ資金

期間 令和2年 令和3年
限定 4月1日～3月31日

金利についてはお近くのJAまで

期間限定金利負担 ⇄ 年 0.2% (変動金利)

・お借入金額100万円以上の場合、お客様が負担する金利の一部をJAバンクが負担します（当初3年間、お客様が負担する金利について最大年1%利子補給します。ただし、利子補給後の実行時の金利は年0.2%を下回らないものとします。）

・変動金利については、期間限定での金利のご案内とさせていただきます。なお、4月、10月に年2回基準金利の見直しを行います。

保証料負担 ⇄ 0円

・お客様が石川県農業信用基金協会へ支払う保証料についてもJAバンクが負担します。

農業の発展に資する事業のための様々な資金ニーズにご利用いただけます。JAの農業資金ですので、スピーディーな対応が可能です。更に、一定の要件を満たすことにより、お借入金利の一部及び保証料相当分をJAバンクが負担します。



お問い合わせは最寄りの支店、または金融共済部（076-273-3131）まで

JAバンク石川

令和2年度 組合員集会のお知らせ

日頃はJA事業にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

JAは毎年組合員との「対話集会」を開催していますが、今年は昨年同様「組合員全体集会」を開催いたします。集会では農業経済学に精通されている鈴木宣弘氏による講演会を開催しますので、ぜひご参加ください。

開催日時：令和2年11月7日(土)

第1回 午前10時～12時

第2回 午後1時～3時

会場：JA白山本店 ホール

対象者：JA白山 全組合員

集会内容

1. 令和2年度 事業概況説明

議題・上半期地域農業の活性化について
・JA合併構想の取り組みについて

2. 講演会

①午前10時30分より

②午後1時30分より

演目 **「新政権の農政と農協改革」(仮題)**

講師 **鈴木 宣弘 氏**

東京大学大学院 農学生命科学研究科

農学国際専攻 国際環境経済学研究室 教授



この件に関するお問い合わせ先：総務課 **272-3333**

私たちの (令和2年7月末実績参考)

組合員数	6,955名(団体含)
貯金残高	76,131百万円
貸出金残高	14,549百万円
長期共済保有高	1,968.7億円
購買品供給高	728,876千円
販売品取扱高	73,206千円

無料税務相談会 **要予約**



当JA顧問税理士
福田 正寛

■ 開催日時

令和2年 9月25日(金)

令和2年10月23日(金)

午前9時～12時(基本30分単位)

■ 開催場所 JA 白山 本店

お問い合わせ・お申込先 (担当/本店総務課 大岡)

TEL 272-3333 FAX 273-0690

e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp

お申込み順に受け付けております。

